



充実した2学期に！

42日間の夏休みが終わりました。コロナ禍の中ではありましたが、勉強、部活動、読書、手伝い、遊び…と有意義な夏休みになったことと思います。

本日始業式を行い、特に2学期お願いしたいこと、頑張っていて欲しいことについて、以下の3点について話をしました。

- 新型コロナウイルス感染症予防に努める
- 学習規律を確立し、家庭学習を習慣化する
- 基本的な生活習慣を身につける



さて、新型コロナウイルス感染症については、デルタ株への置き換わりが進み、全国的に新規感染者が急速に増加し、これまでに経験したことのない感染拡大の局面を迎えています。学校においても、夏季休業中の部活動などの教育活動の場面でクラスターが確認されており、児童生徒の感染数も増加しています。

長崎県においても、県独自の「緊急事態宣言」が9月12日まで発令されており、中体連が主催する大会前の練習等の例外を除き、原則部活動も中止となっています。

そのような状況を踏まえ、本校における今後の教育活動についても再度見直しが必要になりました。3年生の修学旅行については、4月に旅行日程等を変更し、9月13日から実施する予定にしていたが、再度延長することにしました。2年生の修学旅行については、現時点では12月に実施する予定です。

その他、2学期行う予定にしていた主な行事等については、現在のところ以下のとおりですが、感染状況に応じて判断したいと考えています。保護者の皆様方へは大変なご心配とご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

【2学期の主な行事等】

行事名	期日（期間）	現在の状況
市駅伝大会	10月6日（水）	実施予定（市中体連が最終判断）
中間テスト	10月13・14日	実施予定
3年実力テスト	10月20・21日	実施予定
合唱コンクール	10月下旬	実施予定（日程等を検討中）
3年修学旅行	10月下旬～11月中旬	実施予定（日程等を検討中）
県駅伝大会	11月11日（木）	実施予定（県中体連が最終判断）
期末テスト	11月24～26日	実施予定
2年修学旅行	12月6～8日	実施予定

～県中総体等で大活躍～

<バレーボール男子> ※ベスト8
 ○2回戦 対大船越中 2×0で勝
 ○3回戦 対郡中 1×2で負

<野球>
 ○1回戦 対富江中 8×1で勝
 ○2回戦 対島原一中 0×1で負

<サッカー> ※ベスト8
 ○2回戦 対時津中 3×1で勝
 ○3回戦 対早岐中 4×6で負

<卓球男子>
 ○予選リーグ 対日宇中 0×3で負
 対桜が原中 0×3で負

<空手(水田圭亮)>
 ○個人組手 対清水中 負
 ○個人形 予選敗退

<テニス>
 ○優勝(女子ダブルス) 松山 絢香・船戸 蘭心
 ○3位(男子ダブルス) 伊藤 昊祐・船戸 貴心
 ○3位(男子シングルス) 本村 凌雅
 ※ 県中総体硬式テニスで上位入賞した5名は、8月5・6日に熊本市で開催された九州大会へ出場し、活躍しました。

【他の大会・コンクール】

<南島原市民スポーツ大会(バスケットボール)>
 ○3位 有家中学校男子バスケットボール部

<長崎県吹奏楽コンクール中地区大会>
 ○銅賞 有家中学校吹奏楽部

9月の行事予定

1	水	始業式 身体測定	原
2	木	学級役員任命式	則
3	金		部
4	土		活
5	日		動
6	月		中
7	火		止
8	水		
9	木	専門委員会	
10	金	生徒集会	
11	土		
12	日		
13	月		
14	火		
15	水		ノ一部活動
16	木		
17	金		
18	土		
19	日	家庭の日(ノ一部活動)	
20	月	敬老の日	
21	火		
22	水		ノ一部活動
23	木	秋分の日	
24	金	校内漢字コンテスト	
25	土		
26	日		
27	月		
28	火		
29	水		ノ一部活動
30	木		

<校長室の窓から>

子どもに「勉強しなさい」ということが口癖になっていないでしょうか？ある本を読んだら、東京大学や京都大学を卒業した人は、子どもの頃「勉強しなさい」とほとんど言われていないと書いてありました。また、夜遅くまで本を読んでいた、「早く寝なさい」と注意されていたとも書いてありました。子どもの生活習慣に気を配り、子どもの健康を第一に考える家庭で育ったのだと思います。

「勉強しなさい」で子どもをしばってしまうと、親自身の視野も狭くなってしまいます。学力とは、長時間机に向かってさえいればつくというものではありません。いろんなことに興味を持って取り組んだり、その思いを掘り下げていく探求心、壁にぶつかった時に乗り越える力、そうした全てのものが学力の要素になっています。学力は集中力がなければ向上しません。その集中力を養うためには体力が必要です。子どもが元気に毎日生活を送れるように、生活習慣や食事に気を配ることができる親でありたいものです。